



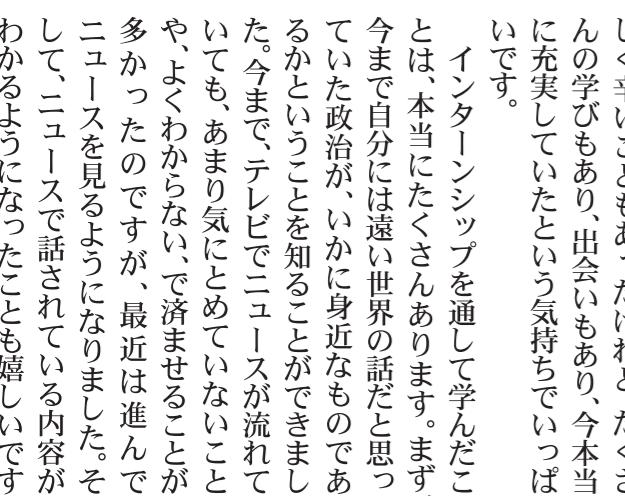
JIMIN NEXT居酒屋トーク、丸川珠代参議院議員と

と大きくわけると二つの活動を中心とし、そのほかにも市政報告や「JIMIN NEXT、居酒屋トーク」など様々な体験をしました。

議会傍聴一つをとっても、インターーンシップに参加して初めて経験することを、ニュースや新聞で報道されることを直接耳にすることは新鮮な感覚でした。また、議会の傍聴を終えて溝口議員とその日の議会の内容についてお話をさせていただきました。事で、理解が深まると共におぼろげながらも自分の考えを議員に伝えることができました。

特に、人吉・球磨地域のダム問題においては熱心に教えて頂けたため、荒瀬ダムの動向についても把握することができました。

この二ヶ月間で、経験したことを無駄にしないように、今後も政治に対する関心を持ちつづけていきたいです。



と大きくわけると二つの活動を中心とし、そのほかにも市政報告や「JIMIN NEXT、居酒屋トーク」など様々な体験をしました。

議会傍聴一つをとっても、インターーンシップに参加して初めて経験することを、ニュースや新聞で報道されることを直接耳にすることは新鮮な感覚でした。また、議会の傍聴を終えて溝口議員とその日の議会の内容についてお話をさせていただきました。事で、理解が深まると共におぼろげながらも自分の考えを議員に伝えることができました。

特に、人吉・球磨地域のダム問題においては熱心に教えて頂けたため、荒瀬ダムの動向についても把握することができました。

この二ヶ月間で、経験したことを無駄にしないように、今後も政治に対する関心を持ちつづけていきたいです。

松岡久美子

熊本県立大学
文学部日本語日本文学科2年



国宝 青井阿蘇神社、楼門前にて



JIMIN NEXT居酒屋トーク 井上信治自民党青年局長と

国宝 青井阿蘇神社、楼門前にて

私は、自分の住む熊本のことですら知らないことがたくさんあつたのだと気付き、もつと自分の住む土地のことを知つていきたい、そして、その素晴らしさをもつといろいろな人に伝えることができるようになりたいと思いまして。地元を愛することのできる人は、心があたたかく、細かなことにも気が付ける人が多いと思います。私も、そんな愛情を持つた人間になりたいです。

二ヶ月間、普通では体験できないような貴重な経験をさせていただけたことを、本当にうれしく思います。溝口議員から学んだ「やれるることは全部やら与えられたならば、やりきつてみせる」という精神を、私も持ち続けて、これからを生きていくたいと思います。溝口議員、スタッフの方、そして出会つた方々へ、充実した時間を過ごすチャンスを与えてください、本当にありがとうございます。

が、わからぬ内容であつた場合は、自ら調べてみようというやる気が出てきました。

また、たくさんの人とつながりを持ち、それをとても大事にする溝口議員の姿を見て、人ととのつながりが、い

荒瀬ダム問題について

2月定例県議会で議論された中で、私が深く携わった「荒瀬ダム問題」について報告しておきます。

この問題の結論は「平成24年度から荒瀬ダム本体を撤去する。それまでの約2年間で撤去に必要な工法技術的なこと、荒瀬ダム周辺地域の地域対策について整理をしていく。」

いうことです。しかし、残念なことに本体撤去に必要な財源の確保が全くなされていないことも事実です。

そもそも潮谷前知事が荒瀬ダムを撤去すると決断した背景の一つには撤去費用が企業局会計で確保できと判断したからでした。また、蒲島知事が就任後「荒瀬ダムを存続し、撤去に必要な4条件の整備に取り組む方針を決めた背景には撤去費用が潮谷前知事の時の判断した金額では収まらないことが判明したからです。

今回、蒲島知事が「平成24年から本体撤去に入るが、それまでの間は発電を続けたい」と一時期言っていたのは本体撤去費用が確保できていないので、少しでも発電をして費用を稼ぐことによって県民に負担をかけたくないとの想いでした。私が所属する県議会自民党会派としても常に財政的な観点も踏まえそのままの知事の判断を良としてきました。今後、県議会としては荒瀬ダム本体撤去に係る財源確保についてまた超党派で国に対して要請を続けていくことになります。

振り返ってみると、民主党及び社民党は野党の頃、いかにも「民主党が政権を取ったならば荒瀬ダム撤去について財政支援は国が行う」と解釈できるような発言を現在、閣僚席に座っている方々や党所属の議員の議論が言ってこられました。是非、現政権には有言実行でこの荒瀬ダム問題に対処してほしいものです。

溝口 幸治

熊本県立大学
総合管理学部 総合管理学科2年

2月から3月にかけてインター
ンシップをさせていただいて、数多くのこと
とを学びました。特に感じていることは
物事の見方・捉え方は多様であり、何事に
も柔軟に対応していかなければならな
いということです。また、独りよがりにな
らず、いろいろな人の話に耳を傾けるこ
とも大切だと感じました。

最初の頃、私は議員に対して、ゆるぎな
い自身の意見を持ち、とても頑固そうな
イメージを抱いていました。しかし、目に
したのは、地元住民の方々の話に真剣に
耳を傾ける議員の姿でした。この様子か
ら、様々な状況におかれた人々の話を聞
き、本当に求められている政治を追求す
る人こそが議員なのだと感じました。議
会のこのような自分の意見を主張するよ
うな場では、簡単に意見が揺らいでしまう
ようではいけないと感じますが、それ以
外の場では、様々な視点に立つてあらゆ
る考え方があることを知ることも必要
だと思いました。

議員は遠い世界の人ではなく、私たち
以上に国や県や市町村のことを考え
日々活動されている尊厳すべき人だよ

熊本大学
工学部機械システム工学科3年
高村 幸大

インターネットを溝口議員のもとで二ヶ月間させていただきました。

自分が将来何をしたいのかといふことも少しずつ見えてきました。現段階で、私は将来自分が生まれ育った人吉に帰り、地域振興に努めていきたいと考えています。活動で何度も人吉に行きましたが、地元に残る歴史や住民の方々の温かさに触れて、改めて地元の良さに気付きました。しかし、抱えている課題も多くあります。大好きな故郷だからこそ、地域の課題は解決できるように、良さはさらに伸ばせるよう尽力していくたいと思います。

今回のインターんシップを通して、多くの出会いがありました。いろいろな人とつながりが持てたことは、大変うれしいことであり、私の貴重な財産になりました。溝口議員をはじめ、事務所スタッフの方々、青年部の方々他、出会った全ての皆様に感謝しています。本当にありがとうございました。今後また、皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

シップを通してその裏側を目の当たりにし、実情を知ったことで、今後の政治に対する見方が大きく変わりそうです。